

「生駒南第二小学校を存続させる場合の具体的な方策」について提案された意見の集約

別紙2

意見書の項目	内容	反映した提案と出処				今後検討すべき事項				
		提案	市教委	学校	保護者		地域			
1. 小規模校を最大限生かした(主体的・対話的で深い学びの実践、外国語の指導、実技指導等)徹底	1) 魅力ある教育活動の創造 ・キャリア教育 ・二小未来創造プログラム ・縦割り授業:イエナプラン ・教育と技術ほかの一体授業:エドテック ・ICTの活用	・実践的なキャリア教育(児童の夢の具現化、資金調達、発信) ・二小未来創造プログラム(縦割りグループ)	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動は、学校が主体となって行う。 ・保護者や地域の支援や協働活動については、学校運営協議会で、協議を行いながら進めていく。 ・市教委は、予算措置、コーディネーターの支援、広報活動等を行う。 			
		・全ての学校の施設を生徒が利用できる小規模校教育 ・立地条件を生かした特色ある授業 ・児童が地域に貢献する活動を授業に取り入れ地域に発信する。 ・学習指導員の活用 ・SDGsを取込んだ授業 ・特定のスポーツに特化した教育				○				
		・こども会議の開催 ・絵本広場の開催 ・未就学児童家庭との交流				○				
		・協働的な学び(イエナプラン・エドテックなど) ・ICT教育の充実 ・オンライン合同学習や合同発表など交流	○	○	○					
		・教職員の授業力、ファシリテーション能力、ICT能力の向上		○						
		個別最適な学び(不登校、病気や臨時休業時のオンライン授業)	○							
		ユネスコスクールに加盟(ESD教育等)				○				
		少人数学級の検討。モデル校に				○		○		
		2) ユニバーサル教育校として児童の受け入れ ・個別の支援が必要な児童の積極的受入れ ・小学校通級指導教室(ことばの教室)の開設 ・不登校児童対応教室の設置 ・外国人、帰国児童の受け入れ	特色ある授業・特化した教育課程で市内全域から児童の受け入れ					○	○	
			・立地条件を生かし他の校区の児童の受け入れ ・適応指導教室の開設 ・フリースクールの併設 ・不登校児童の受け入れ ・支援の必要な児童の受け入れ	○				○	○	
3) 地域の活性化に向けて 学校、保護者、地域が協力し、教育モデル校を創造することにより、地域への転入希望を増やす。	井出山スポーツ施設の複合利用(プール、体育館、グラウンド)						○	<ul style="list-style-type: none"> ・9年制の義務教育化 		
	・PTA、学校、地域が連携した児童健全育成のモデル校化 ・子育ての街で住民を増やす。					○				
国道168号開通に伴う将来予測生徒数の見直し					○					

意見書の項目	内容	反映した提案と出処					今後検討すべき事項
		提案	市教委	学校	保護者	地域	
1. 小規模校を最大限生かした(主体的・対話的で深い学びの実践、外国語の指導、実技指導等)徹底	4) PTAや地域と連携を深めるための空き室の活用 ・PTA室、コミュニティ室設置済み ・保育園などの他の部門の誘致は、調整に時間がかかると共に児童の増加につながらないためニーズが発生した際に検討。	プールなどの休止施設敷地に保育園の誘致			○		・ ニーズと公平性等、他の部門との調整が必要。 ・ 実現に時間がかかる。
		空き教室利用 ・保育園や公民館施設 ・南第二小コミュニティ協議会の事務室 ・老人が集う場所、地域の人が立ち寄れる場所 ・子育て総合支援センター分室			○		
		・地域コミュニティづくり ・持続拡大する地域学校協働活動を通じた学校運営 ・空き室の活用による地域連携強化(PTA教室、コミュニティ教室)				○	
		空き教室利用 ・保育園 ・コミュニティルーム	○				
2. 適度な競い合いの気持ち向上心を育むための環境づくり	1) 運動会のように縦割り授業の中で競い合う活動を試行 ・二小未来創造プログラム ・その他の縦割り授業で試行 2) 努力を評価するシステムの検討 ・努力目標の設定:学校(体育、読書、奉仕活動ほか) ・缶バッジ等の作成:PTA, 地域 ・努力の評価を学校が生徒に授与	・日本の教育はデンマークでは通用しない。グローバル教育を ・縦割り授業のたんぼぼタイム			○		・ 現在の教育の課題、本質的な協議は、教育委員会で行う。 ・ ここでは、二小のできる内容のみを実施する。
		・競わない日本の教育ではグローバルな世界では生き残れない。 ・努力を認める教育方法を取り入れ教育の価値を高める。				○	
		・キャリア教育 ・二小未来創造プログラム			○		
		・縦割りグループと地域が連携したオリエンテーリング				○	
3. 教育活動への地域人材の効果的な参画を促進し、社会性を育む機会の確保	1) PTA保護者による活発な子育て活動 ・積極的なPTA役員活動 ・南第二小存続委員会の設置 ・会員による学校支援お手伝い活動 ・PTA役員OBによる保護者会活動	PTA保護者による活発な子育て活動				○	・ 活発な活動を継続させること。
		ランドセルバンク設立			○		
		ユニセフマンスリーサポート			○		
		プロジェクションマッピングによる地域の恩返し活動			○		
2) 地域による活発な子育て活動 ・南地区自治連合会による地域行事 ・南地区民児協による子育て支援 ・市民自治協議会の子育て支援 ・100こみを通じた子育て支援 ・スカウト協議会による体験支援 ・自治会による子育て支援活動	地域による活発な子育て活動 ・大運動会 ・あいさつ運動 ・地域の力のラウンドテーブル ・学校地域協働活動にビブス配布 ・くらがりとうげ親子ハイクの実施 ・100こみ事業 ・夏祭り ・子どもの見守り活動				○	・ 活発な活動を継続させること。 ・ 学校運営協議会や地域学校協働本部を通して、組織同士のつながりを図ること。	

意見書の項目	内容	反映した提案と出処				今後検討すべき事項	
		提案	市教委	学校	保護者		地域
3. 教育活動への地域人材の効果的な参画を促進し、社会性を育む機会の確保	3) 学校運営協議会・地域学校協働活動を核とした活動 ・令和2年度より学校運営協議会を実施し、家庭教育、学校教育、地域教育を高める運営を行っている。 ・7年目になる二小学校コミュニティ協議会では、学校地域協働活動に取り組んでいる。令和3年度は、22事業を実施予定。	PTA・学校・地域が生徒のために運営するコミュニティスクール				○	・ 学校運営協議会での熟議と地域学校協働活動を有効に進めていくこと。
		PTA, 学校、地域が連携した南第二小を見守り健全育成のモデル校化				○	
		運動場の芝生化				○	
		文化祭などを通じて地域と協働				○	
		複合型コミュニティ活動の拠点				○	
		災害拠点づくり、地域と連携した防災訓練、避難所訓練、防災教育		○	○		
		歩きたくなるハイキングコースづくり				○	
4. 他の公共施設との複合化による教育活動・地域活動の充実	豊富な地域遺産を取り入れた授業 ・校区内の施設 ・人形浄瑠璃 ・井出山スポーツ施設 ・人権文化センター ・暗がり峠 棚田 ・関西メタルワーク(株) ・(一社)無限 ・大谷川のホタルや田んぼアート ・下水処理施設竜田川浄化センター	校区巡りを通じた地域の認知活動				○	・ 二小校区には、地域遺産が多い。それらを、学習活動に取り入れるローテーションの検討も必要。
		人形浄瑠璃見学による地域文化の認知活動				○	
		井出山スポーツ施設の複合利用(プール、体育館、グラウンド)				○	
		人権文化センターによる人権教育				○	
		暗がり峠棚田をまもるNPO法人による地域遺産教育				○	
		くらがりとうげ親子ハイクを通じた地域遺産を知る活動				○	
		関西メタルワーク(株)見学による環境教育				○	
		(一社)無限による障がい者支援活動の周知活動				○	
		大谷川のホタルや田んぼアートなどの地域の人と一緒に学んだ学習				○	